

大学正門の右手に
国際交流留学生プラザが
オープンします！

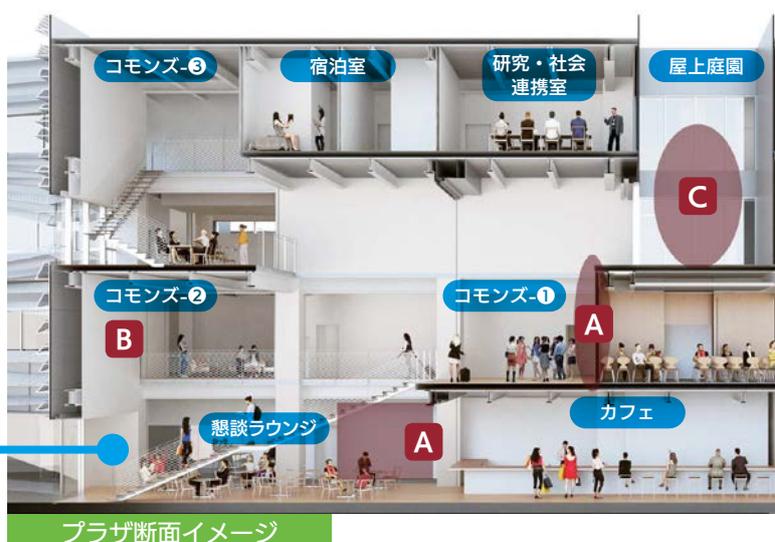
国際交流留学生プラザ

Hisao & Hiroko TAKI PLAZA

画像提供：隈研吾建築都市設計事務所

国際交流・地域交流・世代交流（同窓会、教職員）の3つの交流や集いの拠点として、「国際交流留学生プラザ」が建設されます。未来開拓基金への滝久雄氏（株）ぐるなび会長・CEO・創業者、本学学長特別顧問 からのご寄附（10億円（うち2億円はパブリックアート））、同窓会（桜蔭会、作楽会、鏡影会、茗鏡会、ちぐさ会）からのご寄附（約3億円）をはじめとして、教職員を含む多くの方々からのご支援を頂き、2018年5月から建設が始まりました。設計については、自然豊かなキャンパスとの調和を含めて、隈研吾建築都市設計事務所によって進められ、国際交流施設と、同窓会活動の拠点としての「同窓会 commons」を併設した建物となります。

お茶の水女子大学の新たなシンボルとして、多くの方々にご利用いただくことが期待されています。



○パブリックアート

各階に、陶板レリーフ（日比野克彦氏（東京藝術大学・美術学部長）監修）、ステンドグラス（中島千波氏（日本画家）の原画に基づき作成）、金工造形（宮田亮平氏（文化庁長官、前東京藝術大学学長）作成）が設置される予定です。



国際交流留学生プラザ建設について

【目的】 3つの交流・集い：国際、地域、世代(同窓会)

【設計者】 隈研吾建築都市設計事務所

【建物名】 日本名 国際交流留学生プラザ
英語名 Hisao & Hiroko TAKI PLAZA

【建物概要】 建物用途：大学施設
建物構造：鉄骨造 地上 4階建て
延床面積：2,328㎡
2018年5月着工、2019年3月上旬竣工予定

【施工会社】 清水建設(株)



外観イメージ (国道春日通り側)



多目的室

桜蔭会
会議室-2

桜蔭会
会議室-1

桜蔭会
事務室-A

多目的ホール

3同窓会
事務室

作楽会
事務室

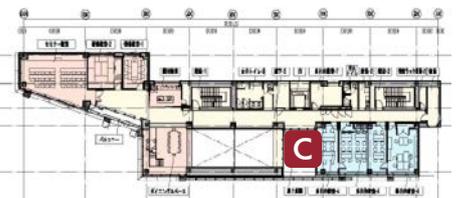
作楽会
会議室
(60人収容)

4階【泊まる】



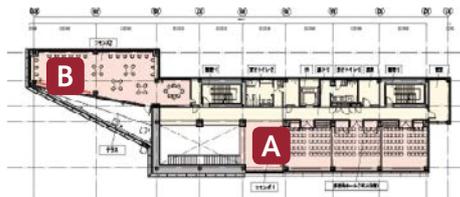
同窓会の多目的室や研究・社会連携室のほか、国内外のゲストや同窓会員、教職員のための宿泊室（シングル・ダブル）がある、構内初の宿泊できる空間です。

3階【学ぶ】



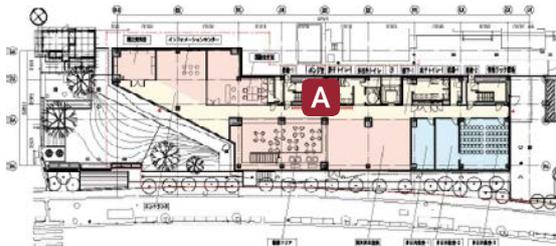
桜蔭会（大学の同窓会）の施設や、学会や一般講座を開催できるセミナー室や研修室のほか、キッチンスペース・ダイニングもあり、分野を問わない様々な知的交流が促進される空間です。

2階【集う】



150人を収容できる多目的ホールや、交流会や発表会を行うことができる commons があり、学内外の行事やイベントで多くの人々が訪れる空間です。

1階【知る・憩う】



インフォメーションセンターや歴史資料館に加えて、国際交流を推進する国際交流室や憩談ラウンジ、一般の方もご利用いただけるカフェ、また作楽会（附属高等学校の同窓会）の施設や幼・小・中学校の3同窓会の事務室があり、様々な交流が生まれる空間が創られます。



金工造形（イルカの彫像）イメージ

【パブリックアート】 制作者・監修者

- ステンドグラス 中島千波氏(日本画家)
- 金工造形 宮田亮平氏(文化庁長官、前東京藝術大学長)
- 陶板レリーフ 日比野克彦氏(東京藝術大学・美術学部長)